

魔法



全作品と講評

www.columnland.net

夜の小道を すんずん進む

真っ黒マントと ぼつしかぶつて

こよいわたしは 魔女になる

ほつきでお空は 飛べないけれど

ヒミツの魔法を となえるよ

TRICK OR TREAT!!

おかしくれなきゃ いたずらするぞ

ほう、クッキーがもう一枚

Happy Halloween

魔法なんてない

そう考えるのは実に愚かである

確かに「魔法」と呼ばれるものは実在しない

しかし魔法は実在しないのではなく、むしろ実在しないもののみが魔法と呼ばれるのではないのか

例えば江戸時代の人にとって月に行くのは魔法とみなせるのではないのか

また明治時代の人にとって原子力は莫大なエネルギー

ギーが発生する魔法とみなせるのではないか

また現代でもお参りやお守りのご利益などをなんとなく信じることも多いだろう

特に現実主義者ほど魔法について考えるべきである
魔法の経済効果は計り知れない

現代のエンターテインメントでは魔法が絡んでいるものは実に多い

ドラマ、映画、漫画、アニメ、ゲーム、小説などにおいて魔法に準ずるものが関わっているものは実に多い
宗教も魔法が関わるものが多い

魔法こそが文化や技術も発展させてゆく

あなたは魔法を否定しますか

モハ 不用な魔法

ありますか？

お急ぎの方、魔法修得前後、覚えるのが苦手な方など、何でもご相談ください！

例
えばこんな方に…

- ・使い方がよく分からない
- ・量が多くて困っている
- ・むしゃくしゃしている

例
えばこんな魔法を…

- 洗濯魔法 ●アウトドア用魔法
- スキー用魔法 ●暖房魔法
- 冷房魔法 ●インテリア魔法

その他
応相談！

大きな魔法から小さな魔法まで

1点からでも大丈夫！

相談無料・見積無料

魔法の処理に関することなら

我々マジクリーン

にお任せください！

まずは1本

お魔法ください！

経験豊富なスタッフが丁寧に対応します！

深夜～AM8:00 まで OK!

裏面もご覧ください

とある魔法屋にて

「これで、全部終わるんですね……。」
フォーク……記憶を消去する魔法。

ここは魔法屋。異国から仕入れた魔法の本で人助けをする、不思議な店。人生に悩んでいる人から難病に蝕まれている人まで、客種は様々だ。とくに最近、人生にけりをつけようとする人がよく来ている。この客も、過去の忌々しい記憶と決別すべく、ここにたどり着いたらしい。

「もちろんです。しかし、本当によろしいのですか？」

「ええ。覚悟は、決めましたから。」

「……そうですか。では、八十万円いただきます。」

この客の情報は、二度と入らなかった。

また客が現れた。

「人生から、逃げ出したいのですが……、何か、いいものは、ありませんか？」

「そうですね……。テレポなんて、どうでしょう。」

テレポ……建物や洞窟から脱出する魔法。人生からの脱出も可能である。

「これで、全部終わるんですね……。」

「もちろんです。しかし、本当によろしいのですか？」

「ええ。覚悟は、決めましたから。」

「……そうですか。では、百四十万円いただきます。」

この客は次の日、行方不明となった。

それにしても最近、本当に暗い客が多い。商売しているこっちまでおかしくなってくる。いったい何人の記憶を奪い、この世界から何人追放したのだろう。考えると恐ろしくなってくる。自分は何をやっているんだ。これが本当に人助けなのか？
これじゃあまるで……。

……人殺し？

一番人生に悩んでいる客は自分自身だった。

「覚悟は、決めましたから。」

こう言い聞かせて、棚からそっと魔法の本を取り出す。

デス……一撃必殺の魔法。ゾンビや幽霊には効かない。

この魔法屋は、忘却の彼方へと消し去られた。

我が家の魔法少女

「はばたけ、光輝く未来へ。ロイヤルレインボーバースト！」

日曜日、我が家に勇敢なる魔法少女のような声が響きわたる。今年で5歳になるわたしの娘の声である。娘は最近、テレビアニメの悪と戦う魔法少女の真似をするのが常である。おかげさまでわたしまで変身するときの呪文や必殺技の名前を覚えてしまった。それにしても、今の娘はもう可愛くて仕方のない歳である。後にも先にもこんなに大真面目に魔法少女の真似をできる年齢なんてこのときだけなのだ。斯く言うわたしにもそんな時代があつてだな……と語りたいところではあるが、それは本題から逸れることになるのと、「魔法使いサリー」なんて若者がしっているのか怪しいのでこの場では止めておく。

さて、最近わたしは、単なる親バカかもしれないが、思うことがあつて、実は娘は本当に魔法が使えるのではないかということだ。しかし、決して我が娘が陰で悪と戦っているのではと妄想しているわけではない。もっと単純に、周りの人の心を優しく包み込むようなもの、名前を付けるとしたならば「しあわせの魔法」とでも呼ぶべきか、を使える気がするのだ。娘は日々わたしを持ち前の明るさで和ませてくれているのは言うまでもないが、外出先で、例えば駅へ向かうバスの中で、娘の周りには常にたくさん笑顔が咲き乱れているのだ。一度そう考えたら思い当たる節が次から次へと出てくる。そのくらい娘の周りには人々の笑顔があふれている。恐らく娘にはそういう素質があるのだろう。皆が皆、幼くて可愛いからといって周りの人々を笑顔にできるわけではない。それゆえ「しあわせの魔法」なんて考えたりしてしまうのだ。

このことをこの間我が家で夫に話した。すると夫は、「しあわせの魔法」か、そりゃあいいな、と笑いながらもどこか納得しているようだった。それから夫が「しあわせの魔法」という言葉を変に気に入ってしまった、こ
とあるごとに口に出すようになったので、娘は魔法少女という認識が我が家ですぐに定着してしまった。こうして娘は我が家では公認の魔法少女となつたのだった。

苦しい時の読み物

人生つてさ、だいたいは運命で決まってるんだよね。宿命とも言っかな。

本人の意志とか関係ない。突然災難が降ってくる。

でもさ、どうにもならないような時でもさ、なんとか耐えた経験って、ない？

きっとあるよね。よくわかんないや、って人は、思い出せないだけ。

困難を乗り越えたのは、誰？

あなたでしょ。

今、苦しんでるのも、あなた。

でも、あなたの頑張りには、それは魔法のように、状況を打破する力を持つてる。

諦めないで。

——きっと誰もが魔法使い

「ねえ、小さい頃、何になりたかった？」

銀杏の木の下で遊ぶ子供を見ながら、不意に彼女が言った。

「ん…魔法使い、かな。」

「魔法使い？ ナントカ戦隊ナントカレンジャー！ とかじゃなくて？」

「うん。変わってるだろ？」

昔読んだ絵本に魔法使いが出てきてね。杖の一振りで悪い竜を退治したり、傷ついた人を助けたり…。そんなのに憧れてね、よく木の枝を拾っては呪文を唱えて振り回してたよ。」

ああ、そんなことしてたねえ、と彼女は懐かしそうに呟く。

「まあ、さすがに小学校高学年にもなったら、魔法使いなんかいないって理解したけどね。」

そのことで友達と大喧嘩したのも、今では良い思い出だ。

「ふん…。でもさ、あたしは今でも信じてるよ、魔法使い。」

どうして？ そう尋ねたら、彼女はちよつと照れくさそうに笑った。

「だって、私は昔から、あなたの魔法にかかっているから。」

急に気温が一度くらい上がったように感じる。もう夏は過ぎたというのに。

「そういう君は？ 小さい頃は何になりたかった？」

「私のなりたいものは、今も変わらないよ。」

彼女は足元の小枝を拾って、僕に手渡す。ニコニコと嬉しそうに。

「魔法使いの、お嫁さんっ！」

…まったく、魔法使いは彼女の方だ。

だって、たった一言で、僕の鼓動をこんなにも速く出来るのだから。

『あなたの魔法にかけられて』

つらいことを いやなことを

忘れる魔法を 忘れたままで

楽しいことを 嬉しいことを

覚える魔法を 覚えられずに

恐がりながら 後悔しながら

生きる魔法で 生きつづける

コンテスト結果

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
01	～Happy Halloween	13 pt	2 位	0 sp
		リズムの良さが身上。軽快に今期のスタートです。このままスポットCMになりそうな、きれいな情景の見せ方ですね。 キャラクターに成り切れば、何でもできる。そんな夢の体験をこの王国で、ぜひどうぞ。 作者さん登場がギリギリ間に合って良かった良かった。おめでとうシルバー・メダル!!		
02	魔法なんてない	1 pt	8 位	0 sp
		2 番正統派（＝論説文）枠、というのが、何となくのお約束。 魔法の有用性について、主張がくっきり立っているのが良さです。論拠も技術の進歩と経済効果というように視点が広くて良かったのですが、その分、しぼりこめなかったところが惜しかった。		
03	不用な魔法ありますか？	10 pt	3 位	4 sp
		魔法を「引き取る」という発想の転換が光ります。CMにふさわしい、賑やかな演出が成功してますね。「マジクリーン」に笑いました。 話題をさらってブロンズ・メダル＆最多特別賞＆イチオシフレーズ大賞です、おめでとう!!! 特別賞：キチガチで賞from A 班（ネタに走っていたから）次世代キャッピー賞from B 班（キャッピーを思い出した。次回作＆裏面に期待）異端児賞from C 班（この作品だけレイアウトにこだわっていて良かったから）最優秀広告賞from J 班（そんな賞、何処でもらえるの？） イチオシフレーズ：「不用な魔法ありますか？」「マジクリーン」「裏面もご覧ください」×3		
04	とある魔法屋にて	2 pt	6 位	2 sp
		三題噺。「覚悟は、決めましたから」——リフレインされるセリフがきれいに効いて、しみじみとホラー気分に入れます。 組み立ての妙。お手本にしたい緻密設計、グッジョブでした。 特別賞：人生から脱出しま賞from E 班（脱出した向こう側で万物の超越者になりたい）どこに行ったか気になるで賞 from H 班（気になるから） イチオシフレーズ：「デス」		
05	我が家の魔法少女	8 pt	4 位	1 sp
		ファミリー版魔法少女。 まずは、かわゆい少女の活発な声と姿を見せて、ゆったりとお母さんの気持ちへと。いい流れで運ばれてゆきます。 波がゆったりしているおかげで、「しあわせの魔法」という、さいごにあらわれるキーワードがしっくりなじみます。悪いお兄ちゃんにダメされたりせず、この		

		まますくすく育ちますように。 特別賞：正統派で賞from I班（俺はこの子に何としてでも賞を与えてやりたい） イチオシフレーズ：「ロイヤルレインボーバースト」 「しあわせの魔法」			
06	苦しい時の読み物	<table> <tr> <td>6 pt</td><td>5 位</td><td>0 sp</td></tr> </table> 友だちトークの気安さ。 「あなたでしょ。」ポンと置かれたフレーズが、さっくり心に刺さります。 そっか、そうだね、と励まされる、ほんのりとあたたかな読後感でした。	6 pt	5 位	0 sp
6 pt	5 位	0 sp			
07	あなたの魔法にかけられて	<table> <tr> <td>2 pt</td><td>6 位</td><td>2 sp</td></tr> </table> あまあいあまあいお話はいかが？ 糖度300%くらいだと、ほら、非現実的過ぎて、逆にうれしくなったりしませんか？ 名うての長文書きさん、今回はコンパクトサイズで無駄な1行が全くない、すっきりした仕上がりでした。 特別賞：じゃんけんで負けちゃったで賞 from D班（3位を決めるときにじゃんけんで負けてランクインしなかったから） 爆発させま賞from F班（魔法にまでリア充持ってくんじゃねえ！） イチオシフレーズ：「ナントカ戦隊ナントカレンジャー」	2 pt	6 位	2 sp
2 pt	6 位	2 sp			
08	いのちのまほう	<table> <tr> <td>18 pt</td><td>1 位</td><td>1 sp</td></tr> </table> この作者さんの詩には、いつも感嘆します。 気取った難しい言葉遣いは、いっさいなくて、いつもの普段使いの言葉だけなのに、すうっと心の深いところに着地する。 きっと王国でもファンが増えることでしょう。ん？ 作風チェンジ？ それはそれで楽しみです。 おめでとう初回の覇者さん!! 特別賞：下読み賞from G班（下段だけ読むと結構こわかったから） イチオシフレーズ：「生きる魔法で生きつづける」	18 pt	1 位	1 sp
18 pt	1 位	1 sp			